



献血へ行こう!

若い世代の献血者数が年々減少しています。あなたの行動で助かる命があります。献血にご協力をお願いします。
図医療政策課 (☎ 504-2178、☎ 504-2258)



広島大学献血推進サークル
かすみブラッドナース
Kasumi-Bloodonorsの皆さん



この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
【SDGs・持続可能な開発目標】

3

すべての人に健康と福祉を



献血バスだと仕事や授業の合間に行きやすい



献血ルームではテレビや動画などを見ながら過ごせる



献血後は待合室で飲み物を飲みながらゆっくりできる

命を救うボランティア

医療技術が進歩した今日でも、血液は人工的につくることができません。輸血や医薬品をつくるために使用され、多くの患者を日々救っているのは、献血で集められた血液です。血液の保存期間は赤血球で28日、血小板はわずか4日。1人が1年間に献血できる回数や量には上限があるため、年間を通じて多くの人の継続した献血への協力が必要です。

若い世代の献血者数が減少しています

献血できるのは、16～69歳*の人です。10～30代の献血者は、この10

年で約3割減少しています。

少子高齢化で献血可能人口が減り続ける中、このままでは、将来必要な血液量を確保できなくなる恐れがあります。
※65～69歳での献血は、60～64歳の間に献血経験がある人に限ります

「私たちと同じ世代にも献血の協力者を増やしたい」

4月30日、広島大学霞キャンパスに献血バスが訪れ、55人が献血に協力。学内で献血の呼びかけを行う献血推進サークルの代表・高砂優羽さん(3年生、上写真・右から2人目)は「初めて献血をした高校2年生の時、誰かの役に立てたと実感しまし

た。献血をしたことがない人にも興味を持ってもらい、献血者が一人でも増えるとうれしいですね」と話します。

アプリでの事前予約がお勧め

献血にかかる時間は、検査を含めて30～40分程度(400mL)。献血Web会員サービス「ラブラッド」アプリを使うと、献血の予約や献血前の問診回答ができ、滞在時間を短縮できます。また、血液の検査結果など献血記録の確認も可能。アプリの取得は下二次元コードで。



アイフォン
iPhone



アンドロイド
Android

市内で献血できる場所はこちら

献血バス

各地域、企業、学校などを巡回しています。運行スケジュールは血液センターホームページで



献血ルーム ピース

回平日/9:00～12:00、13:30～17:00
(土、日、祝、休)/9:00～17:00(9:00～12:00は要予約)
☎中區紙屋町二丁目3-20
☎☎0800-2009-150 休なし

献血ルーム もみじ

回平日/10:30～13:30、15:00～18:30
(土、日、祝、休)/10:00～18:00(10:00～12:00は要予約) ☎中區本通6-11
☎☎0120-634-150 休なし